



繊維産業におけるデジタル化 :

概要

プロジェクト

update texware GmbH は製造データ収集ソリューション *texware/Monitoring* のデータプラットフォーム基盤として *InterSystems IRIS* を採用。

課題

update texware GmbH のソリューションが実装する BI 機能向けに、革新的かつ包括的で、常に最新のインフラを構築すること。

成果

インターシステムズは約 20 年間、*update texware GmbH* に製品の基盤を提供してきました。*update texware GmbH* のモニタリングソリューションのユーザーは、データをあらゆる角度から把握できるほか、プログラミングの知識がなくてもモニタリング・パラメータを調整できます。その一部に *InterSystems IRIS* のダッシュボードが貢献しています。

update texware GmbH は、製造データの収集やビジネスインテリジェンスなどのソリューションを通して繊維メーカーをサポートしています

update texware GmbH は、繊維会社のバリューチェーン全体を対象としたビジネスソフトウェアの開発と販売を 40 年以上にわたって手がけています。

同社のソフトウェア専門家は、製造データ収集（モニタリング）、ビジネスインテリジェンス、データ通信、統合基幹業務システム（ERP）向けの製品など、様々な方法で顧客をサポートしています。*update texware GmbH* は約 20 年間、多くのソリューションの基盤として *InterSystems IRIS®* データプラットフォームを利用しています。

繊維メーカーが稼働させる機械は通常、数百台に上るため、こうした機械が速度などの情報を 1 秒間に 1 つ提供するだけでも、データはすぐに膨大な量になってしまいます。そして実際に機械に取り込まれる情報は、これをはるかに上回ります。IIoT（インダストリアル IoT）を最大限に活用するには、繊維メーカーの機械から取得される膨大なデータを効率的に処理する必要があります。*update texware GmbH* の *texware/Monitoring* および *texware/DeepSee* ソリューションは、企業によるデータのモニタリングを支援する上で鍵となる製品です。

現在、四大陸の 200 社以上の顧客が、ドイツのソフトウェア専門家 *update texware GmbH* の提供する専門知識を利用しています。同社は *texware/CS* ソリューションを通じて、繊維・アパレル業界のバリュー・チェーン全体をカバーする ERP ソフトウェアも提供しています。「我々は今もデジタル時代到来前の機械を使っている企業が IIoT を導入できるよう支援することも目標に掲げています。そのため古いシステムを IT インフラに統合する手段として、レトロフィッティングを利用しています」と、*update texware GmbH* のマネージング・ディレクターを務める Michael Schiffmann 博士は説明します。「これにより、繊維メーカーはさらに多くのデータにアクセスできるようになるため、競争の激しい市場で優位に立てるのです」。

一つのデータプラットフォームで三種類のアプリケーションに対応

update texware GmbH は、ダウンタイムが発生するとすぐにプッシュ通知で従業員に知らせた上で、従業員が機械まで出向いてその理由を判断できるようにするモバイル・デバイス向けアプリを提供する、数少ないサービス・プロバイダーです。このアプリは、

「約 20 年に及ぶ協力関係の中で、インターシステムズは常に当社の製品を実装する上で最適な中核技術を提供してくれています」

update texware GmbH

マネージング・ディレクター

Michael Schiffmann 博士

update texware GmbH の製造データ収集ソリューション texware/Monitoring を構成する 1 つのコンポーネントに過ぎません。繊維メーカーは、このアプリを使って生産工場のあらゆる部分をリアルタイムで監視して、品質保証や故障検出などに活用できます。そのため製品の種類、回転数、停止件数のほか、湿度など製品の品質に影響を与える工場の構内環境など、詳細なモニタリング情報が記録されます。

さらに texware/Monitoring では、工場の現場で過去に発生したすべての事象を網羅した一覧表を作成できます。これにより繊維メーカーは改善の余地のある領域を特定しやすくなり、生産効率を大幅に高めることができます。このソフトウェアは現在、世界中で 600 台以上の機械と連動して利用されています。繊維メーカーは機械から得られる膨大な量のデータを収集、交換、分析でき、その結果として多くの競合他社と差別化をはかれるので、既に IIoT 時代に一歩踏み出していると言えます。

texware/CS への直接接続を含め、モニタリングソリューションと他の 2 製品の運用とデータ通信を可能にするには、強力でスケーラブルなデータ管理ソリューションを揃えた信頼できるパートナーが必要でした。また革新的な機能と 24 時間稼働を提供する必要もありました。中規模企業である update texware GmbH は、20 年近くにわたりインターシステムズのソリューションを通して、こうしたニーズを満たしてきましたが、現在は InterSystems IRIS データプラットフォームを活用しています。

強固な基盤 : InterSystems IRIS

InterSystems IRIS は、データファブリックの基盤となるデータプラットフォームです。様々なデータソースをつなぐ構造によって包括的な相互運用性を確保し、情報へのアクセスを簡素化して加速します。社内外のソースから得たデータを、迅速に統合し、クレンジングし、調和させることができます。

スマートデータファブリックはこのコンセプトを進化させたもので、データ分析のための統合機能などを備えています。また、InterSystems IRIS では Adaptive Analytics などのオプション機能も使用可能になり、update texware GmbH もこの機能を利用しています。update texware GmbH の顧客は InterSystems IRIS を活用しデータの持つ可能性を最大限に引き出すことができます。

update texware GmbH は、リアルタイムで BI 分析が可能なソリューション texware/DeepSee を Monitoring ソフトウェアと併せて提供しています。さらに繊維メーカーは texware/EDI を使ってビジネスデータ交換用の強力なプラットフォームも得ることができ、顧客やサプライヤーのシステムなど ERP 関連のあらゆる通信に利用できます。texware/DeepSee と texware/EDI は、いずれも InterSystems IRIS を基盤としています。

Michael Schiffmann 博士は次のように説明します。「当社のソリューションの基盤という観点から言えば、私たちが必要としているデータプラットフォームは、様々な形式で刻々と更新される膨大な量のデータを迅速かつ確実に保存、クレンジング、分析だけでなく、当社製品の BI 機能をサポートする機能を統合でき、多彩なテクノロジーを提供し、セキュリティの面で常に最新でなければなりません。これらすべてを一つのプラットフォームで提供してくれるのが InterSystems IRIS なのです」

インターシステムズのデータプラットフォームは、データ統合、データ取り込み、組み込み分析機能、組み込みの相互運用性の 4 つの機能のすべてを、スマートデータファブリック・アーキテクチャを利用して高速化し、単一のプラットフォームに簡素化することで、IIoT の運用効率化を実現します。